

安心して身近な「ぎふの食」づくり

■ 水稻（種子）・三郷米麦採種生産組合 水稻優良種子の生産に向けた支援

恵那市の三郷米麦採種生産組合は、美濃市の組合とともに岐阜県の2大水稻種子生産拠点の一つで、翌年度に県内の水稻生産に使う5品種の種子（種もみ）を生産している。

同組合では、4月以降、田植え前の苗の生育揃いや病害虫発生の有無、管理状況を品種ごとに確認する「苗審査」を、延べ4日かけ実施した。

当日は組合役員の協力のもと、JAや農業普及課が審査・指導員を務めた。審査の結果、苗は順調に育っており、健康な状態であると認められ、全ての苗が合格となった。

令和7年度は従来から生産してきた品種「コシヒカリ」、「あきたこまち」、「ココノエモチ」、「あさひの夢」に加え、新たに高温耐性と収量性に優れた「にじのきらめき」の種子生産に取り組む。

農業普及課では、関係機関と連携し、圃場審査や巡回指導、栽培講習会を通じて、今後も優良種子安定生産に向け、指導・支援していく。



【苗審査の様子】

(地域支援係)